

第 22 期 pES club EBM 実践大会

2023 年 12 月 17 日

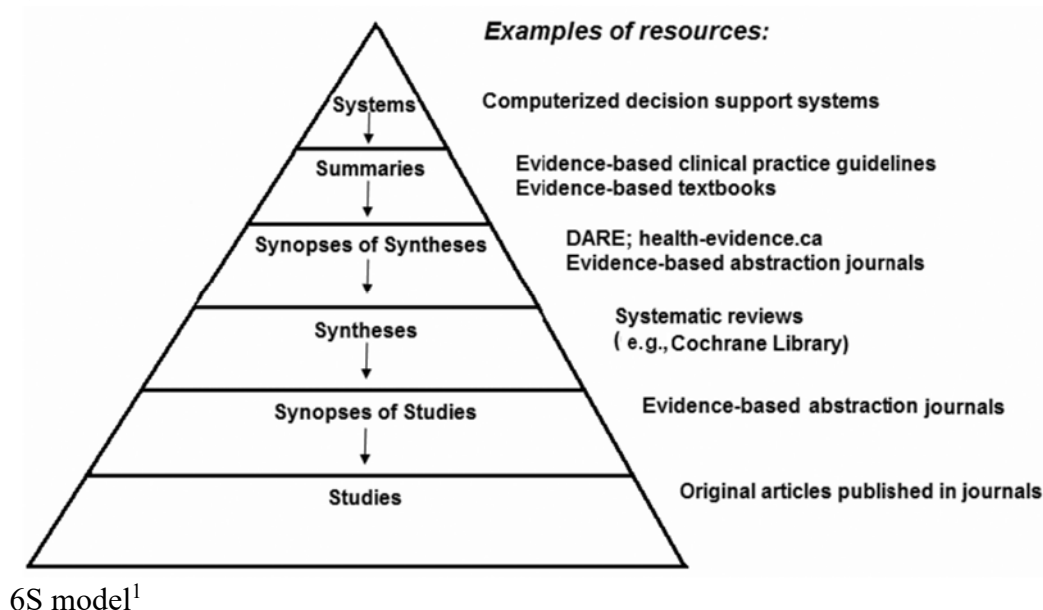
社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

目標：AI 時代における真の EBMer の役割について考えることができる。

課題：2022 年 11 月にリリースされた ChatGPT が世界を席卷し、2023 年は AI が大きく注目を浴びた 1 年でした。Braian R Haynes は 2009 年、6S モデルを示した論文¹の中で、「エビデンスを探す場合、臨床情報源の階層構造の上位のものから順に参照すべきである」と述べましたが、AI の登場によって、最上位の Systems に相当する情報の実用化がようやく現実のものとなってきてきたのです。そんな AI 時代に、真の EBMer だからこそできることはなにか、EBMer の仲間たちと考えることにしました。



1) DiCenso A, Bayley L, Haynes RB. ACP Journal Club. Editorial: Accessing preappraised evidence: fine-tuning the 5S model into a 6S model. Ann Intern Med. 2009 Sep 15;151(6):JC3-2, JC3-3. doi: 10.7326/0003-4819-151-6-200909150-02002. PMID: 19755349.

進め方 (概要) :

- ① EBM の実践において今後どのように AI を活用していくことができるか、また、AI の発達する中で EBMer だからこそできること、果たすべき役割について考え、家のメンバーで相談し、発表の概要を資料にまとめる。
- ② 作成した資料を 12月13日(水)までに南郷にメールで提出する。
- ③ 実践大会当日は、AI 時代における真の EBMer の役割について、家ごとにプレゼンテーションを行う (制限時間 20 分、発表形式は自由)。

EBM 実践大会は、pES club で 1 年間 EBM を学んだ集大成となるものである。これまでに学んだことすべてを活用して取り組むこと。課題を進める上で不明な点、困ったことなどが生じた場合には、早めに Google chat スペース上 (各家の SNS 内で解決するより全体で共有した方が良い場合も多い) か、南郷に直接メッセージで質問すること。

ポイントは個人ではなく、家ごとに付与する。家獲得ポイントは以下の計算式で算出する。
現役生の評点の平均×100+OB/OG・講師陣の評点の平均×200